

| 平成27年度 第2回富士見市環境審議会会議録 | |
|------------------------|---|
| 日時 | 平成28年1月27日(水) 午後2時00分～4時00分 |
| 場所 | 市民総合体育館 3階大会議室 |
| 出席者 (欠席者) | <p>審議会委員 出席者：澤田委員、須田委員、木内委員、石塚委員、横山委員、京谷委員、 千種委員、関根委員、羽石委員、細田委員、前村委員、齋藤委員</p> <p>欠席者：関井委員、川上委員、平塚委員</p> <p>市：環境課(事務局) 山田自治振興部長、益子環境課長、落合環境課副課長、北代係長、川島</p> |
| 会議次第 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 富士見市一般廃棄物処理基本計画第2次計画中間見直し(案)について (2) その他 4. 閉会 |
| 公開・非公開 | 公開 (傍聴人 0人) |
| 備考欄 | |

平成27年度 第2回富士見市環境審議会 会議録

1 開 会

2 あいさつ 自治振興部長

3 議 事

(1) 富士見市一般廃棄物処理基本計画第2次計画中間見直し(案)について 改訂内容及び概要について事務局から説明

- ・10年計画の中間年度における評価と見直しを行った。
- ・上記と社会情勢の変化等により、数値及び施策の追加を行った。
- ・今後のスケジュールについては、3月中にパブリックコメントの結果を公表後、計画改訂とする。

<質 疑>

委 員：中間処理施設の耐用年数の見込みや維持管理マニュアルについては？

事務局：耐用年数については把握していないが、平成31年度から基幹工事の予定となっている。

委 員：最終処分地についての具体的な場所についての明示が行われていないのはなぜか。

事務局：志木地区衛生組合に確認をし、民間施設の運用については変更することがあるので特別地名を載せないこととした。県の施設については変更ない。

委 員：評価において、「より効率的・合理的」ということについて触れているが、予算的な意味あいのみでのように受け取った。表現について説明を。

事務局：収集運搬体制については、地域を分割して委託してきた経緯があり、今年度平素の収集運搬業務の完全委託化が完了した。今後は収集曜日の見直しなども含めた効率的・合理的な収集運搬体制を考える。

委 員：ごみの有料化についてはどのようなようであるか。

事務局：10年計画で策定した計画であり、かつ国の指針に合わせる必要があり、指針ではごみの有料化に関する記述を入れなければならないこととしている。有料化については志木地区衛生組合構成市と慎重に研究していきます。

委 員：焼却灰の資源化については？

事務局：冊子の14ページに量については記載している。焼却灰のリサイクルについては志木地区衛生組合で検討及び実施をしている。

委 員：事業系ごみの減らし方について具体的にはどのように推進していくか。また、資源ごみについてはより資源化を図ることが出来ないだろうか。

事務局：事業系ごみについては、食品廃棄物等の排出抑制と資源化を図っていくことにより実施していく。また、家庭系の資源ごみについては可燃ごみの中に含まれる紙布類について、資源化の推進をさらに啓発していく。

委員：目標値が予測値に対して厳しいのではないか。

委員：厳しい目標値に対して行政が取り組む方策を詳細に記載するべきでは。

事務局：目標値については、国の計画などに則った数値設定を行っている。厳しい目標ではあるが、達成に向けた方策を改訂版に掲げた施策をはじめ、視野を広くもち検討実施を行う。

委員：パブリックコメント実施にあたっては、改訂したポイントがわかるような資料を付けた方がよいのでは。

事務局：検討する。

※上記のとおり、改訂版の内容及びパブリックコメントの実施についてご了解いただいた。

4 閉会